

●平成25年度施政方針

「協働」による自立のまちを目指して

―聖域なき行財政改革と協働のまちづくりの定着―

小沢昌記市長は25年第1回奥州市議会定例会で、本年度の市政運営の基本となる施政方針を述べました。その概要を紹介します。
■本庁政策企画課（内線416）

財政再建の道すじ

25年度は、私の市長としての任期最終年になります。この間、最優先の政策として財政運営の健全化を掲げ、合併当初にもくろんだ以上の市民負担を求めず、将来にツケを回すことなく、目標達成に向け、方策を実行してまいりました。特にも、競馬事業の存続、水沢病院の経営再建、土地開発公社の債務整理は、市民や議会の皆様の理解と協力を得て計画的な手立てを講じ進めることができました。今後も市民の生命と安全な生活を持続的に堅持するために、これまで以上の最善を尽くす覚悟であります。

協働のまちづくりの定着

「市政の主人公は市民である」との

理念のもと、市民一人一人には計り知れない底力があると信じて、「協働のまちづくり」のさらなる推進を図るため、「協働のまちづくりアカデミー（仮称）」を開設し、「協働のまちづくり」の担い手となる「人づくり」に力を入れてまいります。

ILCの誘致

国際リニアコライダー（ILC）は、市にとって、科学する心を育み多文化共生の新しいまちづくりを実現する希望の光となるプロジェクトです。国家プロジェクトとして、東北を国内候補地に決定していただくために、県などの関係自治体はもろん、あらゆる関係団体と協調し、ILCの誘致促進に精力的に取り組んでまいります。

地域医療の充実

市民の健康と医療を堅持するため、地域医療における市立病院および診療所の在り方や経営健全化、他の医療機関との連携強化を目指す「奥州市立病院・診療所改革プラン（仮称）」を策定いたします。また、医師養成奨学金貸付事業などを推進し、医師確保に努めるなど、医療の充実を図ります。

25年度予算編成と財政健全化

25年度一般会計当初予算は、新市建設計画のための事業を盛り込むとともに、財政調整基金を取り崩さず、新たな行政需要にも対応する編成とし、プライマリーバランスの黒字も確保しました。
歳入は、財源の多くを地方交付税に頼らざるを得ず、これまでと同様に一般財源の確保はとても厳しい状況にあります。
一方、歳出は、行財政改革の実施

による効果額を見込んでいるものの、多様化する市民ニーズに対応するため、経費捻出を人件費の抑制に頼らざるを得ない状況にあります。

実質公債費比率、将来負担比率は依然として高い水準にあり、合併特例の期限切れに伴う普通地方交付税の減額が3年後から始まることから、容易ならざる状況にあるとの認識のもと、財政健全化に真面目から取り組んでまいります。

行財政改革の推進

徹底した「選択と集中」による行財政改革こそが財政再建という難局打開のために避けて通れない関門であると確信し、市役所のダウンサイジングを不断に進めてまいります。
この聖域なき行財政改革が、将来に負担を先送りしない責任ある者の務めであるとともに、来るべく市の飛躍に希望を託す大人の務めであると確信しております。



施政方針・部門別の主な重点項目

- みんなで創る自立したまちづくり
- 市民憲章普及による一体感の醸成
- 地域力向上のための人材育成
- 未来を拓く人を育てる学びのまちづくり
- 学校施設新築事業の着実な推進
- 希望郷いわて国体成功のための準備
- 健康で安心して暮らせるまちづくり
- 高齢者などの見守り体制の充実
- 子育て支援のための推進体制整備
- 地域包括支援センターの機能強化
- 賑わいと豊かさのあるまちづくり
- 地消地産の農畜産物づくりの推進
- 商店街への出店の促進
- 地域経済を循環させるビジョン策定
- 豊かな自然と共生する安全なまちづくり
- 環境にやさしい循環型社会の形成
- 自主防災組織の育成支援の推進
- 安全で心地よい生活空間のまちづくり
- 通学路や生活道路などの整備
- 生活再建住宅支援事業の推進
- 水道老朽管の計画的更新と整備
- 東日本大震災と放射能対策
- 公共施設の除染活動の継続実施
- 汚染土壌の除染活動の実施
- 農畜産物の風評被害などの対策

●平成25年度教育行政方針

未来を担う人づくり

三田信一教育委員長は25年第1回奥州市議会定例会で、教育行政方針を述べました。その概要を紹介します。

■奥州市教育委員会事務局教育総務課（江刺総合支所内線411）

たくましく生きる力をはぐくむ学校教育環境の充実

就学前教育は生涯にわたる人格形成の基盤を担うことから、健康な体人との関わり、環境への好奇心や探究心、言葉や表現などを育む教育を推進します。そのため、幼稚園における「まなびフェスト」の活用と学校評価の実施により、幼稚園と家庭が協働する教育活動を推進し、幼児教育の体制の充実を図ります。

学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童生徒一人一人に確かな学力を保障する教育の充実と教師の指導力の向上に努めます。そのために、児童生徒自身の学ぶ力を引き出す授業づくりを目指した「学びの共同体」の考え方による授業改革を進めます。「心の教育の充実」については、正義感や公正さを重んじる心、他者との共生および寛容な態度を養うため、児童生徒の望ましい人間関係づくり

や学校不適応の未然防止と早期発見および対応に努めます。

26年4月開校予定の前沢統合小学校については、現在進めている新築工事を完成させるとともに、各学校や地域との協働体制のもと、新設校への移転を円滑に進めます。

また、胆沢区統合中学校については、建設に向けた基本・実施設計を行うとともに、地域の人々と連携し、着実に統合準備を進めます。

生きがいあふれる生涯学習・文化活動の充実

市民一人一人が生涯にわたって心豊かに充実した生活を送るため、自由に学び豊かな自己実現を図ることができるよう、関係機関や団体との協力のもと、市民や地域へ学習機会の情報を提供します。また、各地域における学習活動を推進するため、生涯学習推進センターを中心にリーダー養成事業などを実施します。

家庭教育学級や教育振興運動など社会的な課題や地域課題解決に向けた各種事業を実施するとともに、青少年や豊富な知識を有する高齢者などの社会参加を進めます。

次代をつむぐ歴史遺産の保存と活用

本市の歴史と文化の起点となる胆沢城跡については、「平泉の文化遺産」と連動して、本市を訪れる人々との交流拠点となる歴史公園の整備を引き続き進めるとともに、他の国指定史跡についても適切な保存管理および環境整備を実施します。また、世界遺産「平泉の文化遺産」へ拡張登録を目指す白鳥館遺跡と長者ヶ原廃寺跡の調査研究を推進します。

潤い豊かなスポーツライフの推進

成人の週1回以上のスポーツ実施率67%以上の達成に向け、チャレンジデーや市民体育祭、スポレク奥州などの全市的イベントに取り組むほか、各区や地域ごとのコミュニティスポーツ活動を推進するため、スポーツ推進員の派遣などに努めます。

28年度に開催の「希望郷いわて国体」への対応については、万全な受け入れ態勢を確立するため、関係機関と連携し、会場となる既存施設の修繕や維持管理に努めます。